

●広告料金表(抜粋)

掲載スペース	カラー	モノクロ	サイズ(天地×左右mm)
第1ブロック	490,000円	——	297×210mm
記事対向1頁	490,000円	——	297×210mm
1頁	450,000円	185,000円	297×210mm
1/2頁	250,000円	95,000円	132×185mm
記事中縦1/3頁(後付)	180,000円	——	272×56mm

※広告料金には別途消費税がかかります。

※広告企画関連広告は紹介記事の周辺に集中して掲載いたします。

※その他のスペース、タイアップ広告については、お問い合わせ下さい。

●媒体概要

創刊 1956年8月
発行部数 32,000部
販売方法 全国書店販売
定価 1,944円(税別)
製本・開き あじろとじ・左開き

●読者層(抜粋)

建築設計事務所 18.1%
インテリアデザイン事務所 13.4%
店舗設計施工業 11.6%
建築業(一式) 10.6%
店舗設計事務所 8.3%

取り扱い広告代理店

株式会社 商店建築社

東京本社 / 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-5-3 TEL: 03-3363-5760

大阪支社 / 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-9-28 TEL: 06-6251-6523

<http://www.shotenkenchiku.com>

広告企画書

2019年11月28日発売号

Advertising Project Proposal
December 2019

12

商店建築

SHOTENKENCHIKU

12月号のラインアップ

ファサード&ルーフ
サイン

広告企画書

Advertising Project Proposal

- 発売日 2019年11月28日
- 広告申込締切日 10月15日
- 広告原稿締切日 10月18日

広告企画とは？

広告企画では、毎月テーマを設け、デザインや機能性に優れた店舗用建材や設備製品を1ページあたり3~4点のスペースで多数紹介します。掲載内容は、製品・施工事例写真(1~2点)、製品紹介文(300字以内)、会社情報のほか、読者が簡単に資料請求を行える「資料請求番号」を記載します。



● 広告企画

● 広告企画

ファサード&ルーフ

機能性とデザインを両立させた外装用建材・屋根材などを紹介

店舗・商業施設の外装材には、高い意匠性が求められます。専門に作られたフロント材はもちろん、各種外装用建材も意匠性の高い製品が数多く見受けられるようになりました。また、屋根においても、伝統の屋根瓦を始め、機能性に加え“見せる”ことを意識した屋根材が注目されています。さらに、夜間の照明演出を付加すれば昼間とは異なる表情をファサードに与えます。特集では、店舗・商業施設で使用される外装用建材・屋根材、および設備を施工例と共に紹介します。



掲載イメージ

広告対象製品

ファサード：ストアフロント／金属系サイディング／窯業系サイディング／木質系サイディング／アルミスバンドレル／押出成形セメント板／外装用金属パネル／アルミルーバー／壁面緑化システム ほか
ルーフ：屋根瓦／金属系屋根材／膜構造・トラス屋根／樹脂・ガラス屋根／雨樋 ほか
照明：ライトアップ用照明器具各種

サイン

顧客を惹きつけ、導くサインのための素材・設備を紹介

店舗・商業施設においてサインは、その存在を顧客にアピールする重要な役割を担っています。2020年東京オリンピック、2025年大阪万博に向け、海外からの訪問者へも言語を問わず情報を伝達する役割も担っています。また、街の景観を構成する要素でもあり、さまざまな配慮や創意工夫が要求されます。特集では、店舗・商業施設を始めとする各施設で人を目的地までの確に誘導するサインデザインのための素材を紹介します。



掲載イメージ

広告対象製品

サイン素材／看板／発光パネル／装飾シート／大型映像装置／グラフィックシート ほか

今後の予定企画

月号	発売日	申込締切日	原稿締切日	広告企画
1月号	12月28日	11月15日	11月20日	店舗建材&設備 総特集 建築・設計事務所プレゼンテーション(id.job 連動)(※) 繰込付録「SHOP&SHOWROOM GUIDE 2020」
2月号	1月28日	12月13日	12月20日	商空間のための環境演出装置 ライン照明&間接照明&小型スポットライト 建築・デザインソフト&プレゼンツール(※)

(※) 誌上プレゼンテーション：メーカー取材を元に、製品のスペックだけでなく、製品の開発意図や企業姿勢などを記事(有料)として掲載します

商店建築

12

月号

編集・予定企画

連載・予定企画

業種特集 ① 「カフェ&コーヒースタンド大特集」

恒例の「カフェ&コーヒースタンド」特集です。コーヒーが美味しく、バリスタが魅力的で、空間の雰囲気も良い。そして、その店の佇まいが街に気持ち良い雰囲気を生み出す。緩やかにコミュニティの拠点になっている。そんなカフェが、ここ数年、じわじわと全国に増え続けているように感じます。そうしたカフェの最新事例を今回も集めました。

- ・カメラ屋の跡地にできた、レンズのような窓を持つカフェ。
- ・人気アパレルブランドが展開し、隈研吾氏の設計で京都進出したドーナツカフェ。
- ・裏原宿にある小さな集落のような複合施設に併設された人気カフェ。
- ・一つ2000円を超える高級ハンバーガーが売りの、恵比寿にオープンしたハンバーガーカフェ。
- ・完全キャッシュレスを実現し、レジカウンターを無くした青山のカフェ。

どうでしょうか。ワクワクしませんか。それぞれに個性のあるカフェを多数取材中です。

業種特集 ② 「テイクアウトショップ特集」

食パン、チーズタルト、かき氷など、単品メニューに絞って、本格的なクオリティーの商品を提供する。だから、小さなお店だけど、行列ができています。最近、そんな店を街でよくみかけませんか。手軽に食べられるメニューをテイクアウトして、街歩きをしながら食べる。そんな「オトナの買い食い」って、楽しいですよね。そうした食品系のテイクアウトショップがじわじわと流行しています。小さい区画に出店できるので、駅ナカや駅前にも出店しやすい。今回は、テイクアウトショップを10件以上集め、詳細な平面図や立面図とともに掲載します。チーズタルトで知られるブランド「BAKE」が初めて出店したチョコレート業態や、熟成食パンの専門店、キャンディーの有名ブランドの最新店舗など全国から事例を集めます。どうぞお楽しみに！

「日本商空間デザイン史」

デザイン批評家で編集者の鈴木紀慶氏が、「1980年以降」を対象に、店舗インテリアデザインの歴史を書き起こしていきます。1980年までのインテリアデザイン史は、同氏や他の研究者やデザイナーが執筆しています。しかし、それ以降の歴史はまだあまり整理されていません。そうした未踏の領域へ、史的視点から切り込んでいきます。

「東京ヤミ市 建築史 ~ マーケットと横丁の起源を歩く」

私たちは今、横丁でお酒を飲んだり、細い路地と小さな無数の店が絡み合う界隈性あるエリアを歩き、「なんだか、ちょっと怪しげ。でも人間味を感じるし、居心地がいい」なんて言いながら、楽しんでいます。このようなエリアを都市史研究家の石樽督和氏と歩き、フィールドワークします。そして、同氏から史実に基づくレクチャーも行います。